

生徒・卒業生、保護者、ひと塾、相談者、関係者各位

むさしの学園&むさしの高等学院からのお願い

NPO法人 フリースクール **むさしの学園**
埼玉県指定技能連携校 **むさしの高等学院**
代表理事 望月 泰宏【携帯：090-1554-1755】

拝啓

だんだん日差しが強くなり、半そで一枚でも過ごせる日が増えてきました。連休中も登校日の出席率が高く、学園や学院で友達と過ごすことを楽しいと思ってくれているのだなと、嬉しく感じています。こうして、ゆっくりと人間関係が広がるにつれて行動半径も大きくなり、さまざまな冒険譚を聞けるようになってきます。自分が楽しかったことを、他の人とも分かち合いたいと思えるのはとても素敵なことですね。

そして、「友達と話していて、おもしろそうだったことを今度は自分でもやってみたい。だから、こんな企画を立てました。」という積極性がどんどん生まれてきています。どんな企画もドンと来い！

敬具

7月の親サロン

7月の親サロンを下記のように行いますので、一人でも多くのご参加をお待ちしております。

日時 7月3日（日） 午後2時30分～5時

会場 新座ほっとプラザ

（志木駅下車、改札口を出て、左に進むと直通で入れます）

5月親サロンご報告

5月15日に親サロンが行われました。初めての参加者が二名、色々なお話が交わされました。3時間話しても足りないと思月さんに話していたお母さんが、うまくまとめて20分位お話をなさいました。学校との対応で大変なご苦労があったことが、話の隅々で感じました。出席されたお母様から「大変だったでしょうね」というお言葉がありました。学校も先生も悪気があって対応したわけではないと思いますが、教育委員会から言われたこと、本に書いてあるマニュアルを鵜呑みにして子どもと対応した結果がどれだけ子どもや親を傷つけているかを、学校も教師もわからない、感じえない恐ろしさを皆思い知らされました。子どもたちへの対応にマニュアルはありません。一人ひとりの生き方が違うように、一人ひとり対応の仕方が違います。＜親であれ、教師であれ、私たち大人が見ている「子ども」は子どものごくわずかな部分である＞ということをお心に銘記することが大事です。

1. 若者サロン

5月の若者サロンは、「18歳の選挙権について考えよう」というものでした。中学生や高校生にとっては、選挙というものと政治のつながりが自分の身近になかなか感じられないため、活発な意見交換というわけにはいきませんでした。18歳を過ぎたOB、OGたちからは、選挙権とは何か？選挙権を得ると自分たちの生活がどう変わるのか？そもそもなんで選挙をするのか？という質問が出てきました。

現在の生活がスムーズに回っていることが当然すぎて、そこに働く政治の力が想像できなくなっているのは、我々大人も同様ではないでしょうか？先日の熊本の震災、遡って東日本大震災のような非日常的な重大事件が起こった際に、見逃していた政治の力を目の当たりにすることになります。

選挙を通して、みんなが幸せに生きるための社会づくりを考えていく場にしたいと思います。

2. ラーメン大会

去る5月11日（水）に、いろは遊学館にて「むさしの ラーメン大会」が開催されました！スタッフ2名を含めた参加者は14名。思い思いのラーメンを作って、楽しく食べました。和気あいあいとした活動の様子は、後のページの写真でどうぞ～♪

① 塩班

OBを含む男子だけで、野菜たっぷりの塩ラーメンを作りました。この班のメンバーを見ただけで、絶対にラーメンだけじゃ足りない！と思い、急きょご飯も2合から3合炊きに変更。手際よく、一番に完成しました。野菜の優しい味がしました。

② 味噌班

豚ひき肉を味噌、しょうが、にんにくで炒めたスープに麺を投入。

白髪ネギと缶詰のコーンにバター、猪狩が差し入れた自家製チャーシューをトッピング。

かなり濃厚な味噌ラーメンで、いきなりの満腹感。

およそ自宅で料理をしたことがない男子も、サラダを作ってくれました。

③ 醤油班

今回の企画主が率いる醤油班。さすがに本格的なレシピで、「出汁は魚のアラで取る！」とのこと。

残念ながら、鯛のアラが大量に出るシーズンではなく、ブリのアラで挑戦。途中、思わぬ失敗や奇跡が起こり、ずいぶん時間がかかってしまいました。

がっ！できあがったラーメンは、とにかく絶品！！薄口しょうゆを使ったスープは、アラと桜えびの出汁がしっかり出ている、料亭の味！思わず、みんなも唸っていました。

3. 農業プロジェクト・ジャガイモ(芽かき)

しばらく降ったり止んだりの不安定な天候が続き、なかなか農作業ができませんでした。

種イモを植えた後は、10cmほどに草丈が育ったら「芽かき」をしなければなりません。昨年、初めてのジャガイモを栽培した際は、この「芽かき」をせずに収穫したため、あまり大きくならなかったようです。

そこで、今回は大きいジャガイモを収穫するために、全力で「芽かき」を実施。丈夫な芽を2～3本残しただけで、それ以外の芽はすべて根元から掻きとるのです。一人一畝と割り当てして、よーいどんで「芽かき」の開始。軍手をはめた手で、芽を掻きとっていくと。

種イモを植え付けした時よりも、土の色が濃く、柔らかくなっていることに気づきました。そのためか？ジャガイモもしっかり根を張っているようで、一つのジャガイモから7～8本は芽が出ていたのです。一瞬、せっかく生えている命…と考えましたが、大きいジャガイモを収穫したいという野望の前に、いつしか目に前には掻いた芽の山が(笑)

今回は、「土寄せ」をします。ジャガイモは、日に当たると緑化してしまい、内部で有害な毒素を作ってしまう。それを防ぐために、根元に土を盛っていくのです。中腰で、なかなかしんどい作業ですが、それもこれも大きいジャガイモのため(笑)

頑張りますっ！！

4. 卓球・バトミントン・散歩クラブ活動

新学期も1か月を過ぎると、おおよその1日の活動内容が形を整えてきます。

学習・談話（アニメ他思い思いの絵画、ゲーム、新しい企画の話題、お茶会他）

スポーツ（卓球、バトミントン、散歩他）等を一人ひとりが、無理なく自分がやりたいと思うものに参加します。この「無理なく」というのが、キーワード。やりたくなければ、やらなくてよい。このスタンスが、生徒の心を軽くします。でも、「やってみたら面白いかもよ？」と誘うことは止めません。「自分の学校を作る」には、一歩踏み出す勇気も必要ですね。

（猪狩：記）